

2021年10月13日

北日本は本格的な紅葉シーズンへ！ウェザーニュース「第二回紅葉見頃予想」を発表
 紅葉の見頃時期は関東甲信でやや遅く、西日本で平年並～早い予想
 ～今年は色付きの条件良く鮮やか！日光は10月下旬、京都は11月中旬から見頃に～

株式会社ウェザーニュース(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開 千仁)は、秋の紅葉シーズンを楽しんでいただけるよう、「第二回紅葉見頃予想」を発表しました。現在、北日本や東日本の山では紅葉が見頃を迎えています。今週末は定山溪温泉(北海道)や八甲田ロープウェー(青森)、上高地(長野)などで見頃の紅葉を楽しめそうです。

これから見頃を迎える東北や関東甲信では平年よりやや遅くなる予想ですが、北陸や東海、西日本では平年並～早い見頃を迎える予想です。今年は台風や大雨による木や葉への影響が少なく、葉が色付くために必要な適度な日照と雨、気温低下が見込めることから、鮮やかな紅葉が期待できそうです。

スマートフォンアプリ「ウェザーニュース」では、全国の約800名所の見頃予想日やスポット情報を公開しています。なお、「第三回紅葉見頃予想」は11月上旬の発表を予定しています。

ポイント

1. 紅葉の見頃時期は関東甲信でやや遅く、西日本では平年並～早い予想
2. 今年は葉の色付きに好条件、ここ数年で最も美しい紅葉に

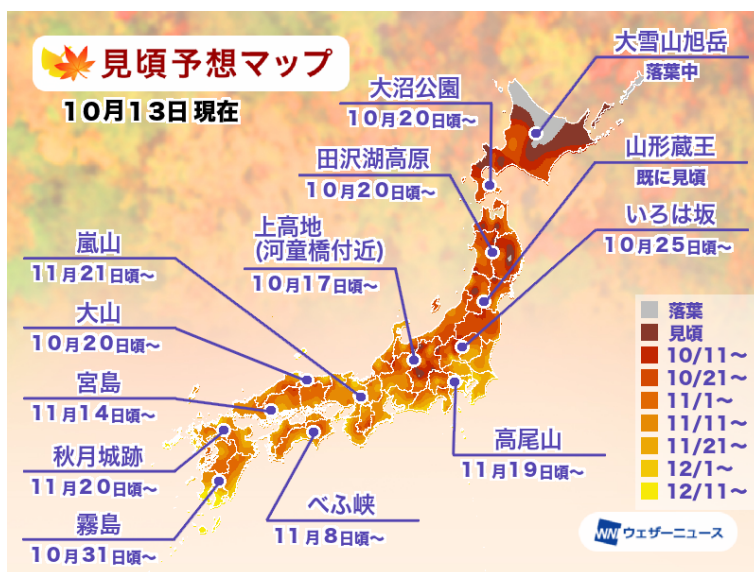
全国約800か所の紅葉名所の見頃予想はこちら	第二回紅葉見頃予想の一般向けサイト
「ウェザーニュース」アプリ または ウェザーニュースウェブサイト『紅葉 Ch.』 https://weathernews.jp/s/koyo/	ウェザーニュースウェブサイト「第二回紅葉見頃予想」 https://weathernews.jp/s/topics/202110/120095/

◆ 2021年「第二回紅葉見頃予想」

<見頃時期:関東甲信でやや遅く、西日本では平年並～早い予想>

葉が色付く時期は秋の気温と深く関係しており、気温が低いと色付く時期が早くなり、高いと遅くなります。

今年の秋は、9月前半は寒気が流れ込んだ影響で気温が平年より低くなりました。このため、北日本や東日本の標高が高い山では色付きが早く進み、平年より5日～10日ほど早い見頃を迎えたところが多くなりました。一方、9月後半からは暖気が流れ込んで全国的に気温が高くなりました。このため、東北や関東では色付きが少し遅れているところがあります。



東北や関東甲信では 11 月も気温が平年より高い傾向のため、これから見頃を迎える名所では平年より 5 日前後遅い見頃となる予想です。東海や北陸、西日本では、11 月は気温が平年並かやや低い傾向になることから、多くの名所で平年並～早い見頃を迎える予想です。

<鮮やかさ: 今年葉の色付きに好条件! ここ数年で最も美しい紅葉に>

葉が鮮やかに色付くためには、秋に適度な日差しと雨があり、気温がしっかりと下がる必要があります。また夏の天候は葉の育ち具合や痛み具合を左右し、色付きの良さに影響を与えます。

今年の秋は 9 月から 10 月上旬にかけて晴れた日が多く、日照時間が長くなりました。また 9 月は寒気の影響で冷え込みが強く、葉の色付きが進みました。さらに台風の影響が少なかったことで、色付きが鮮やかになったと考えられます。

北日本では紅葉シーズンとなっていますが、既に見頃を迎えた十勝岳(北海道)や月山(山形)などからは、今年葉がきれいに色付いているという声が届いています。特に大雪山旭岳(北海道)では、数年ぶりにとても鮮やかな色をしているようです。

◆ 北・東日本の山は紅葉シーズン!

9 月は北日本や北陸に度々寒気が流れ込み、平年より気温が低くなりました。標高が高い山を中心に色付きが進み、大雪山系(北海道)や八甲田ロープウェー(青森)、室堂平(富山)では平年より 1 週間～10 日ほど早い見頃を迎え、既に落葉が始まっています。また、10 月上旬は高気圧に覆われ、西日本を中心に晴れた日が多くなりました。放射冷却による冷え込みで葉の色付きが進み、石鎚山(愛媛)でも平年より 4 日ほど早い見頃を迎えています。一方、東北や関東では、10 月上旬の気温が平年より高かった影響で那須岳(栃木)では平年よりも 5 日ほど遅い見頃を迎えました。

※見頃の定義: 一つの名所の中で、全体の約 7 割が色付いたときから落葉が始まった日まで

※見頃の平年: 2004 年から 2020 年の期間で、紅葉が見頃を迎えた日から落葉が始まった日の平均

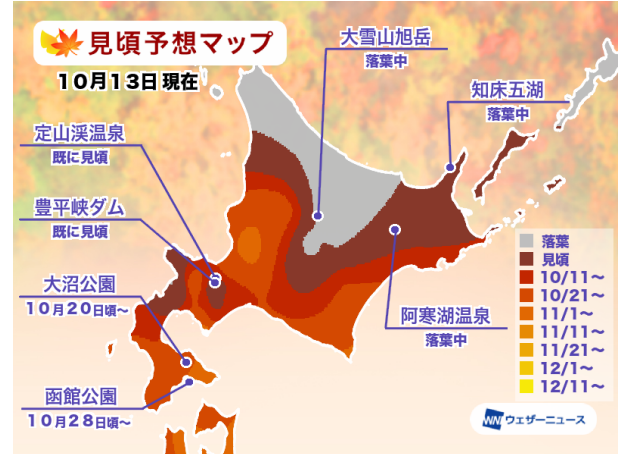
※天候の平年: 1991 年～2020 年の過去 30 年平均

◆ エリア別の紅葉見頃予想

北海道：定山溪温泉など各地で見頃 道南も10月下旬から見頃に

北海道では、9月の気温が平年より低く、大雪山系の山々では平年より一週間ほど早い見頃を迎え、既に北から落葉しています。また豊平峡ダムや阿寒湖温泉など10月上旬に見頃を迎える多くの名所でも、晴れた日の放射冷却で色付きが進み平年並～早い見頃を迎えました。

今後、10月下旬にかけても周期的に寒気が流れ込み、晴れる日は放射冷却で色付きが進みます。これから見頃を迎える名所でも概ね平年並の見頃となる見込みです。葉の色付きについては、9月は日照が多かったことに加え台風の影響が少なく、鮮やかな紅葉となっている名所が多くなっています。今後も天気は周期的に変化して葉が鮮やかに色付くために必要な日差しと雨が見込めるため、多くの名所で鮮やかな紅葉が期待できそうです。

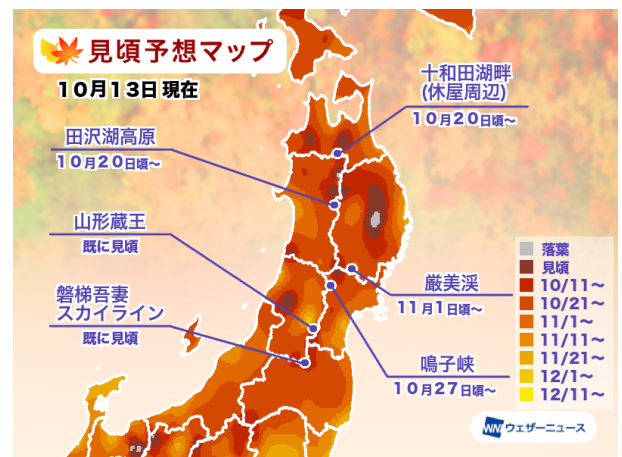


東北：山は紅葉シーズン！平野部は10月下旬から見頃に

東北では、9月中旬にかけての気温が平年より低く、朝の冷え込みも強かった影響で、八甲田ロープウェー（青森）や山形蔵王（山形）などの山では平年より一週間ほど早く見頃を迎えたところが多くなりました。10月に入ってから周期的に寒気が流れ込んだことで色付きが進み、平年並の見頃を迎えたところが多くなりました。

今後、11月にかけての気温は平年並か平年より高い予想で、これから見頃を迎える名所は平年並～遅い見頃となる予想です。

葉の色付きについては、10月下旬にかけて天気が周期的に変化して、葉が鮮やかに色付くために必要な適度な日差しと雨が見込めます。このため、多くの名所で鮮やかな紅葉が期待できそうです。

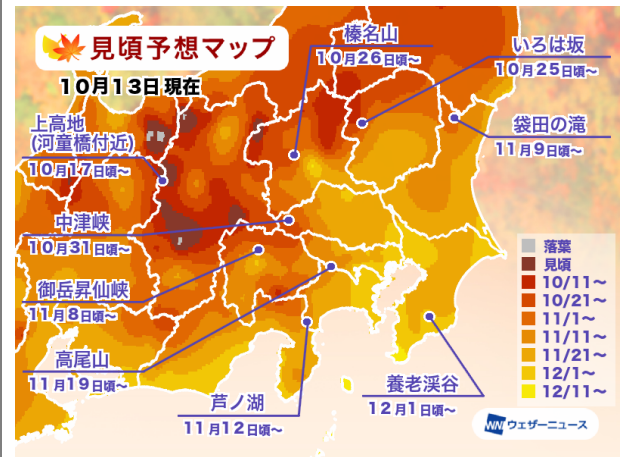


関東・甲信：山から紅葉シーズン開始！高尾山など南部の名所は11月中旬から見頃に

関東・甲信では、9月前半の気温が平年より低く、9月後半～10月上旬は高くなりました。このため、9月中に見頃を迎える標高の高い山では平年より5日前後早い見頃を迎えた一方、10月中旬に見頃を迎える山では色付きが遅れ、平年より5日前後遅い見頃を迎える見込みです。

今後、10月中旬以降は暑さが落ち着くものの、11月の気温は平年より高い予想のため、これから見頃を迎える名所では平年並～遅い見頃となる予想です。

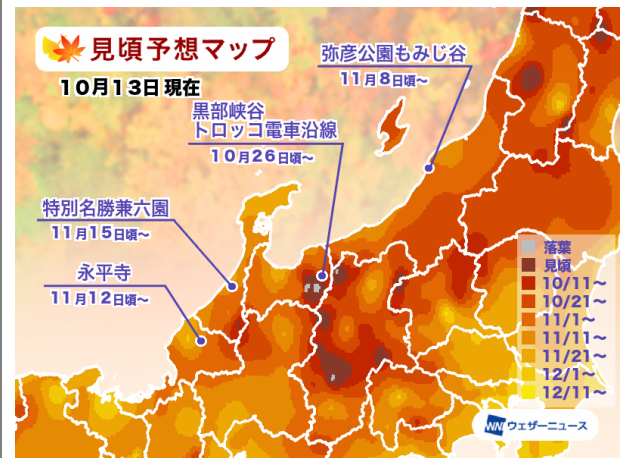
葉の色付きについては、11月にかけて天気が周期的に変化して、葉が鮮やかに色付くために必要な適度な日差しと雨が見込めます。このため、多くの名所で鮮やかな紅葉が期待できそうです。



北陸：山から紅葉シーズン開始！兼六園は11月中旬から見頃に

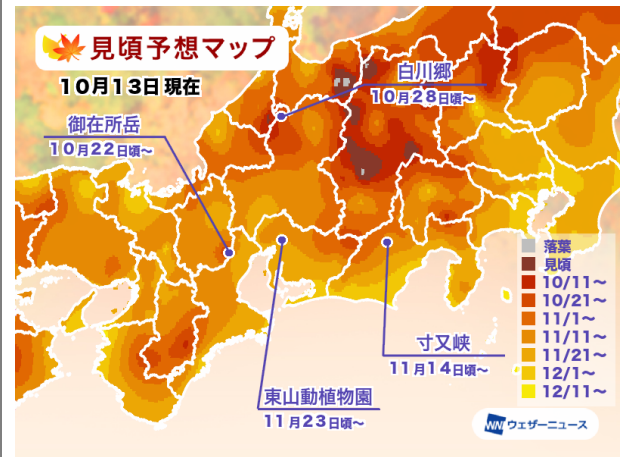
北陸では、9月中旬にかけて気温が平年より低く推移しました。室堂平(富山)では平年より10日ほど早い見頃を迎え、既に今年の紅葉は終了しています。10月に入ってから晴れた日が多く、昼間の気温は高くなったものの放射冷却による冷え込みで葉の色付きが進みました。このため、白山白川郷ホワイトロード(石川)では平年並の見頃を迎えており、今週末も紅葉を楽しむことが出来そうです。今後、10月下旬以降は気温が平年並になるため、これから見頃を迎える名所でも平年並の時期に見頃を迎えるところが多くなる予想です。

葉の色付きについては、10月下旬にかけて天気が周期的に変化して、葉が鮮やかに色付くために必要な適度な日差しと雨が見込めます。このため、多くの名所で鮮やかな紅葉が期待できそうです。



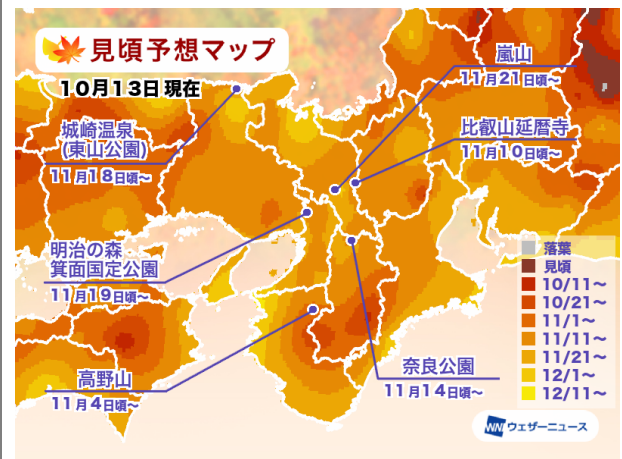
東海:山から紅葉シーズン開始！平野部は11月下旬から見頃に

東海では、今週末から寒気が流れ込み、標高が高い山ではいよいよ葉の色付きが始まりそうです。白川郷(岐阜)などの山沿いでは平年並の見頃を迎えるかとみています。今後、11月にかけての気温は平年並になるため、多くの名所で平年並の時期に見頃を迎える予想です。葉の色付きについては、11月にかけて天気が周期的に変化して、葉が鮮やかに色付くために必要な適度な日差しと雨が見込めます。このため、多くの名所で鮮やかな紅葉が期待できそうです。



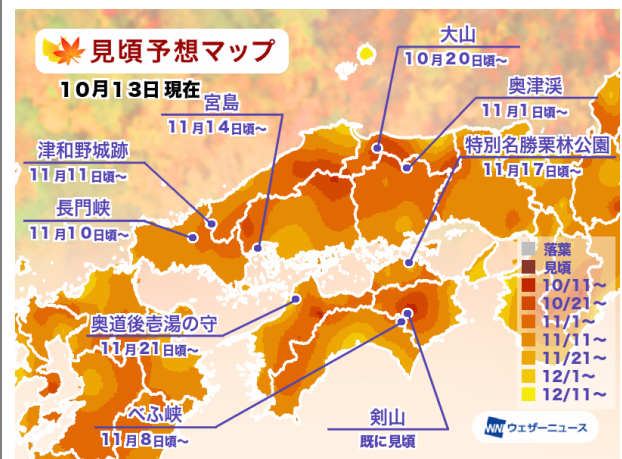
近畿:鮮やかな紅葉に期待！京都是11月中旬から見頃に

近畿では、今週末から寒気が流れ込み、標高が高い山ではいよいよ葉の色付きが始まりそうです。高野山(和歌山)などの山では平年並の見頃を迎えるかとみています。今後、11月にかけての気温は平年並になるため、多くの名所で平年並の時期に見頃を迎える予想です。葉の色付きについては、11月にかけて天気が周期的に変化して、葉が鮮やかに色付くために必要な適度な日差しと雨が見込めます。このため、多くの名所で鮮やかな紅葉が期待できそうです。



中国・四国:鮮やかな紅葉に期待！平野部は11月中旬から見頃に

中国や四国では、10月上旬は晴れた日が多く、放射冷却による冷え込みで葉の色付きが進みました。このため、石鎚山(愛媛)や剣山(徳島)など標高が高い山では平年より4～5日ほど早い見頃を迎えており、今週末も紅葉を楽しむことが出来そうです。今後、11月にかけての気温は平年並から低い傾向のため、これから見頃を迎える名所では平年並～早い見頃を迎える予想です。葉の色付きについては、11月にかけて天気が周期的に変化して、葉が鮮やかに色付くために必要な適度な日差しと雨が見込めます。このため、多くの名所で鮮やかな紅葉が期待できそうです。



九州：鮮やかな紅葉に期待！平野部は11月中旬から見頃に

九州では、今週末から寒気が流れ込み気温が低くなる予想です。このため、10月下旬～11月上旬に見頃を迎える雲仙・仁田峠（長崎）や霧島（鹿児島）など標高が高い山では、平年並～早い見頃を迎えるとみています。

その後、11月にかけての気温は平年並となるため、その他の多くの名所では平年並の時期に見頃を迎える予想です。

葉の色付きについては、11月にかけて天気が周期的に変化して、葉が鮮やかに色付くために必要な適度な日差しと雨が見込めます。このため、多くの名所で鮮やかな紅葉が期待できそうです。

